

令和4年度 中学校卒業式挙行

令和5年3月6日(月)、中学校体育館にて行われ、53名の生徒が卒業を迎えた。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、時間短縮・規模縮小という条件のもと挙行された。在校生や来賓がいない中ではあったが、卒業生は大きな声で校歌や式歌を歌いあげ、立派に証書を受け取り、学び舎から巣立っていった。町長祝辞、教育委員会告辞は、時間短縮のために参加者にペーパーで配布された。天候にも恵まれ、式後も友人や教職員、保護者と写真を撮るなど、最後まで別れを惜しむ姿が見られた。



令和4年度 小学校卒業式挙行

令和5年3月17日(金)、町体育館にて行われ、39名の児童が卒業を迎えた。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、時間短縮・規模縮小という、中学校と同じような条件のもと挙行された。在校生や来賓がいない中ではあったが、卒業生一人ひとりが「将来の夢」や「感謝の言葉」を発表した後、立派に証書を受け取り、学び舎から巣立っていった。町長祝辞、教育委員会告辞は、時間短縮のために参加者にペーパーで配布された。卒業式後は、友人や教職員、保護者と写真を撮るなど、別れを惜しむ姿が見られた。



図書館企画展「世界のカブトムシ大集合！」開催

令和5年3月19日(日)、「伸びゆく木曾岬町のふれあい広場 2023」にあわせて図書館企画展として「世界のカブトムシ大集合！」を開催した。図書館では、来館者に楽しんでいただくためにさまざまな企画展を実施しており、今回は3年ぶりに役場前で開催された「ふれあい広場」にあわせて開催した。生きたヘラクレスオオカブトに触ったり、昆虫標本の作り方などの実演もあり親子連れで大いに賑わった。



令和4年度 第2回木曾岬町社会教育委員会 開催

令和5年3月20日(月)9時30分から役場4階防災多目的室において開催した。

令和5年度の社会教育基本方針案が承認されたほか、社会教育分野における令和5年度当初予算案の概要や社会教育施設及び社会体育施設の利便性向上の取組みについて報告した。委員からは「木曾岬町の歴史を学ぼう講座」において、木曾岬町史を教材として活用することや子どもにも町の歴史を学ぶ講座を企画してはどうかといった提案のほか、社会体育施設の長寿命化計画についての質問が出された。



令和4年度 こども園 卒園式挙行

令和5年3月23日(木)、こども園にて行われ、29名の園児が卒園を迎えた。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、小・中学校の卒業式同様、時間短縮・規模縮小という形で挙行された。卒園児たちは、思い出の映像に合わせてはっきりとした声で「思い出の言葉」を発表し、元気いっぱいの様子で園から巣立っていった。

式後はお友達や先生と一緒に写真を撮るなど、最後の思い出作りをする姿が見られた。



「木曾岬子ども未来塾」運営委員会 開催

令和5年3月23日(木)18時30分から福祉教育センター会議室にて木曾岬子ども未来塾運営委員会を開催した。本年度の参加状況のほか、来年度に向けた支援計画について審議し、参加者の少ない18時からの開講を中止するかわりに夏休みの5日間と冬休みの2日間の午前中に小学5・6年生も対象にした学習支援をする方針を確認した。また、体験学習では星空観察会において、ペルセウス座流星群を観察するためキャンプ道具を用意して寝ころびながら観察するなど今までとは異なる体験会とする提案がなされた。



令和4年度 修了式ならびに離任式

令和5年3月24日(金)、こども園、小学校、中学校にて、修了式が行われた。また、小学校、中学校では、今年度末で異動する教職員の離任式が行われた。

修了式では、校長先生の講話を聞きながら今年度の学校生活を振り返るとともに、これまでお世話になった先生方の離任の挨拶にそれぞれの思い出を巡らせ、別れを惜しんだ。

翌25日(土)から春休み期間に入った。